

三 中國各地ニ於ケル日貨排斥狀況 二七五 二六

北京へ転電シ、天津、漢口、南京及杭州へ暗送セリ

二七五 八月二十七日（発）  
内田外務大臣宛（電報）

排日活動緩和ノ為中國側官憲ニ対シ之ガ取締

方更ニ勧説ノ件

第一九九号

其後当地ノ排日運動情況ハ本月初旬ノ如キ公然日貨検査ヲ  
為スコト無キニ至リタレドモ本邦人トノ取引支那商ヲ間接  
ニ圧迫シツツアルヲ以テ緩和ノ程度極メテ微弱ナリ是レ本  
月十六日本官ノ督軍訪問後外交後援会ノ幹部數名ガ數度ニ  
亘り督軍ヲ往訪シ居リ官憲ノ排日取締緩和ヲ懇願セル様子  
ナルヲ以テ督軍ノ取締方針軟化セル疑アリ從テ蕭督軍ノ各  
官憲ニ發セル取締訓令ハ相當ニ嚴重ナルモノ其後ニ  
至リ約束ノ布告發布ヲ肯ゼザル為各排日團體猶活動ヲ止メ  
ズ又既ニ報告ノ通り一昨二十五日一支那人実業家ヲシテ意  
思疏通ノ為日支兩國ノ主ナル商人約二十人支那側ヨリ商總  
會總理周星棠外約十名出席シ宴會ハ無事了リタルモ昨日當  
地ノ漢字新聞ニハ右宴會ヲ攻撃シ出席者ヲ賣國奴ト罵詈シ

二二六

タルモノスラアリ從テ乍遺憾期待セル効果ヲ顯ハサザリシ

疑アリ而シテ是督軍以下官憲ノ態度ニ帰スル所ノモノ勘ナ

カラザルヲ以テ本官更ニ各官憲ノ勧説ニ努メツツアリ

公使ヘ転電シ天津、上海、沙市、宜昌へ暗送セリ

四 長沙

二七六 四月二十三日 在長沙田中領事ヨリ

内田外務大臣宛

湖南省ニ於ケル旅大回収運動狀況ニ關シ報告

ノ件

機密信第二一一号

大正十二年四月二十三日

在長沙

領事 田中 莊太郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

湖南省ニ於ケル旅大回収運動ニ關シ其後ノ状況報告ノ件

湖南省ニ於ケル旅大回収運動狀況ニ關シテハ已ニ客月二十八日附機密第一三号並ニ同三十日附機密第一四号ヲ以テ前

（五月七日接受）

湖南外交後援会

四月五日午後三時ヨリ倉後街工團連合会ニ於テ各公團代表  
之ニ集リ連席會議開カレタリ郭亮推サレテ主席トナリ談論  
三時ニシテ左ノ事項ヲ議決シ解散セリ

(一) 本会ヲ名ツケテ湖南外交後援会トナス事

(二) 分業的組織ヲ議決シ分チテ文書、交渉、編輯、調査、國  
貨維持会、宣伝婦女部、演講、志願軍、會計、庶務ノ十  
一部トス

(三) 各部ニ臨時左記主任ヲ置ク事

組織主任夏明、交渉主任劉撲、國貨維持主任陶鑄、文書  
主任郭亮、編輯主任王会悟女士、宣伝婦女主任譚敏女  
士、會計主任朱菊和、庶務主任譚影竹、演講主任李斎女  
士、志願軍主任王麓孫

(四) 討論會々費ハ本日出席ノ四十團体ニ於テ各團一元ツツ  
出斯事

(五) 討論會々場ハ省教育會ヲ仮定シ交渉主任ヲシテ之レカ借  
用方ヲ交渉セシムル事

(六) 次回討論會開催ノ期日ハ十五日午後二時ト定ム

（別紙）

右御参考迄ニ一括及稟報候 敬具

本信写送付先 在支公使

四月六日湖南全省工團連合會、粵漢鐵路總工會、長沙筆業公會、湖南造幣廠工人俱樂部、長沙電汽工人俱樂部、長沙泥木工會、湖南縫級工會、長沙理髮工會、長沙輒穀工會、長沙機械工會、黑鉛煉廠工人俱樂部、湖南石印工會、鉛印活版工會、長沙人力車工會等連名ヲ以テ全國各新聞社、各公團、各學校ニ左ノ如ク打電セリ

「日本ハ三十年來帝國主義並ニ侵略政策ヲ事トシ我主權ヲ侵シテ余力ナシ二十一ヶ条約ヲ我代表ニ提出シ巴

里、華盛頓両會議ニ於テ我代表ヨリ無効ヲ宣セラレ国会ニ於テハ正式ニ否認セラレ而シテ今已ニ旅大租借期滿テルモロヲ他ニ藉リテ返還セス旅大ハ北方ノ門戸ニシテ亦經濟上枢要ノ地ヲ占ム豈他國ノ割拠ニ任シ得ン願クハ我同胞ハ連合シテ起チ抵抗ヲ謀リ國交ヲ絶チ日貨ノ排斥ニ努力スヘシ」云々

湖南外交後援会ノ宣言

湖南外交後援会ハ十五日午後四時ヨリ通俗報館ニ於テ各部主任ノ談話会ヲ開催セリ

而シテ經費ニ関シテ符狄果ヲ推選シ華實公司ニ向ヒ費用ヲ募リ容附金簿冊ヲ作り各界ニ費用募集ノ事ヲ謀ラシメ

シタリ

平江ニ於ケル游街大会

本月十五日平江県立師範第一高小培元、明元第七、第八各校主催トナリ午前八時同地教育会ニ集合シ各界ト連絡ヲトリ游行ヲ為セリ午後啓明女子師範李氏<sup>(?)</sup>族学江西旅平小学亦市街ヲ靜肅裡ニ游行セリ

二七七 五月七日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

排日遊行団ノ一部ノ領事館内ニ於ケル暴行ニ付報告ノ件

第二四号

數日來當地外交後援会（最近労働者系統ノ者ニ依リ組織セラル）中心トナリ主トシテ上海、漢口方面ノ煽動ニ依リ国恥紀念日ヲ期シ排日運動ノ準備中ナリシガ本日午前八時頃ヨリ市内（脱）モノ約二万ニ達シ交互排日の講演ヲナシタル後數隊ニ分レ大小旗幟ヲ樹テ排日ノ文句ヲ合唱伝單ヲ撒布一隊約一千ハ十一時頃當館前ヲ通過シ熱狂ノ余リ労働者ラシキモノハ支那側ヨリ予メ自發的ニ當館ニ配置セラレシ

左ノ宣言書ヲ發布シタリ（宣言書新聞切抜添付）

湘潭ニ於ケル游街大会

四月六日學生連合會ハ同地昭潭中校ヲ会場トシ午前九時頃ヨリ游街大会ヲ舉行シタリ參会者ハ千余人ノ學生ヲ主トシ商人等モ亦加ハリ小旗ヲ手ニシタレトモ寧ロ平静裡ニ解散セリト

衡陽ニ於ケル游街大会

当市學生連合大会ハ外交後援会ヲ組織シ四月十四日示威運動ヲ試メリ女生小学生モ加ハリ路々印刷物ヲ散布シ稍稍熱狂的ナリシト

鶴陽ニ於ケル游街大会

本月十五日游街大会舉行セルモ平靜裡ニ解散シ特記スヘキ事ナシ

常德ニ於ケル游街大会

常德ニ於ケル大会ハ比較的盛大ニ挙行サレタリシモ其レカ為ニ何等暴挙アリシヲ聞カス

四月十三日午前九時公共体育场ニ集合セル多數參会者ハ各自收回旅大、取消二十一條、抵制日貨等上書シアル白旗ヲ手ニシ十時同所ヲ出発シ道々宣言書ヲ撒布シ且講演

巡警約二十名ノ或者ト小競合ヲ始メ之ヲ捕ヘントシテ門内ニ約二三十名侵入シ（本館ノ西門ノ方ハ閉鎖シ置キタルニ之ヨリモ破壊侵入ス）巡邏搜索ノ混亂ニ乘ジ屋外ヨリ事務所及夜陰官舎ノ窓硝子十数枚ヲ破壊セシガ團体側重ナル者ノ鎮撫ニ依リ直ニ引揚ゲタルガ軍隊側ヨリ派遣セラレシ代表者之ヲ視察シ実状容易ナラズト認メ午後一時解散ヲ命ジタル為メ市内遊行ハ終リタリ在留本邦人ノ生命財産ニハ何等危害ナク當館ノ被害モ全ク右ニ止マリタルモ館内ニ於ケル暴行ハ交渉使及ビ警察側代表者十分目擊シ居タルヲ以テ右ニ対シテハ近ク當局ト何分ノ交渉ヲ致ス考ヘナリ尚此ノ日市内店舗ハ一律排日ノ紙片ヲ添附シテ門ヲ閉シ人力車ハ全部休業セシモ右ハ学生及労働者ノ強迫的使嗾ニ依ルモノニシテ遊行團体モ支那官憲ノ自發的注意アリシ為メ大体ニ於テ秩序アリシモノト言フ可シ此ノ種行動ハ今後繼續セラル可キ見込ナルモ右事實不取敢電報ス委細郵報上海及漢口ヘ転電セリ

二七八 五月八日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙領事館ノ遊行団侵入事件ニ閲シ楊交渉司  
長トノ会談並ビニ其ノ解決案ニ付本省ノ意見

回電方稟請ノ件

第二五号（排日暴動）

往電第二四号本日夕刻楊交渉司長來訪今回ノ出来事ニ対シ  
陳謝ノ意ヲ表シタルヲ以テ小官ハ本件処置方ニ閲シ同氏ト  
協議ノ結果同氏ハ〔一〕省長ヨリ書面ヲ以テ館内侵入暴行ニ対  
シ遺憾ノ意ヲ表スルコト〔二〕今後此種排日遊行ハ之ヲ絶対ニ  
禁止スルコト能ハサルモ當館及一般在留邦人ノ生命財産  
ニ危害ヲ加フルニ至ルヲ防止スル為遊行ノ場合軍ヲ附シ万  
一ノ場合兵力ヲ以テ防止スルノ手筈ヲ定メシムルコトノ二  
項ヲ實行スルコトヲ諾セリ尚實際暴行ヲ為セル労働者ヲ取  
調ヘ处罚セシムルコトモ必要ナルカ此点ニ閲シテハ今回ノ  
排日運動計画中當館ヨリ交渉司ニ対シ本邦人側ニ危害ノ及  
ブコト無キ様予メ警告シタルコトアルモ實際ニ於テ支那側  
ハ自發的ニ百方防止ノ処置ヲ執リ當館ニ対スル暴行モ僅ニ  
前電ノ程度ニシテ止ミタル事情ヲ諒トスヘク且暴行モ労働  
者ニ於ケ官憲ニ対スル反感甚ダ根強ク昨日彼ノ一團ガ當  
館ニ於テ暴行ヲ演ジタルモ畢竟排日ノ為メヨリモ寧ロ保護  
ノ任ニ当レル巡警ヲ襲撃シ尚当館ノ關係ヲ利用シ支那官憲  
ヲ苦シメントスル魂胆ニ出デシ跡歴然タリ然モ市内衛戍ノ  
任ニ当レル軍隊ガ事態容易ナラズト認メ軍隊ヲ出シ武力ヲ  
加ヘテ解散ヲ命ジタル際ノ如キ労働者ハ憤懣ノ極ジカイハ  
敵トスル等不穏ノ言ヲ洩ラシ四散セル実情ニテ彼等ノ省長  
ヲ中心トスル文武官憲ニ対スル反感益々募レルヲ以テ今後  
機会アル毎ニ官憲反抗ノ暴挙勃発スルモノト予想ス可ク形  
勢甚ダ不穏ナリ併モ一面排日ノ大勢ニ押サレ本邦人ハ往々  
之ガ犠牲トナルコト（不明）ノ如クナル可ク今後本邦人ノ  
保護ニ閲シテハ一層ノ注意ヲ要スルモノト思考ス此ノ点ハ  
在支公使、上海ヘ転電シ漢口ヘ郵報セリ

二八〇 五月八日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

排日運動ノ日本商品ニ及ボス影響ニ閲シ申進

ノ件

三 中國各地ニ於ケル日貨排斥狀況 二八〇 二八一

者カ予テヨリ支那官憲ニ抱ケル不満其因ヲナシ終ニ巡警ト  
ノ衝突ニ依リ被害當館ニ及ヒシモノト見ルヘク一種ノ過激  
思想ノ表徴ト認メラレ此際支那官憲ニ暴行者处罚ヲ強フル  
労働者ノ排日運動ヲ益々悪化スルニ至ルヘキニ鑑ミ〔三〕ノ主張  
ハ見合スコトシ右〔一〕、〔二〕両項ニ依リ本件ヲ解決致シ度シ  
若シ何分ノ御異議アルアラハ至急御電訓有之度シ尚當館破  
壊ノ箇所ハ交渉司長ヨリ人ヲ派シ早速修繕ニ著手セリ

北京、上海へ転電シ漢口ヘ郵報セリ

二七九 五月八日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

遊行団ノ領事館内暴行ノ真相ニ閲シ申進ノ件

第二六号

当地ニ於ケル五日國恥紀念日狀況前電ノ通ナル處大体ニ於  
テ学生団ハ秩序アリシモ労働者側ハ其態度甚ダ不穏ナリシ  
ハ事實ナリ之ニ閲シ諸種ノ情報ヲ綜合スルニ趙恒惕當省ノ  
主權ヲ握リテヨリ財政窮迫ノ為メ有ラユル誅求ヲ為シ省民  
ノ所謂軍閥反抗ノ氣勢漸ク昂マリ殊ニ労働者ハ從来苛酷ノ

第二七号

近來旅大回収問題ニ基ク當地日貨排斥運動ハ學生労働者ニ  
依リ可成リ激烈ニ行ナハレ支那新聞モ之ヲ煽動シツツアル  
モ一般商人ハ寧ロ冷靜ニシテ今ノ處学生等ノ圧迫ヲ虞レ本  
邦關係ノ取引ヲ幾分手控フモノアルニ過ギズ本邦輸入品ハ  
日本商ノ手ニ在ルモノ堯行影響ヲ蒙リツツアルモ支那商ノ  
手ニ在ルモノハ格別ノ変ナシ本邦汽船積荷ハ輸入ニ於テハ  
契約品尚多キ為メ未ダ影響ヲ受ケズ輸出ニ於テ（不明）上  
海荷揚ヶ妨害ヲ虞レ積荷ヲ差控ヘ居ル筋漸ク多ク余程ノ打  
撃ヲ受ケツツアリ之ヲ要スルニ今迄ノ處ハ兎モ角今後排斥  
運動ノ続行スルニ依リ本邦商及商品ノ受クル影響余程大ナ  
ル可シ

二八一 五月十一日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

遊行団ノ領事館侵入事件處理ニ閲シ回訓ノ件

第一三号

貴電第二五号ニ閲シ貴見ノ通取計方差支無シ但〔三〕ノ「遊行  
ノ場合軍ヲ附シ」云々ハ支那官憲ニ対スル反感ヲ嵩め曳テ





三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二八五 二八六

二三六

甚大ノ打撃ヲ受ケ去ル五月七日所謂国恥紀念日以降各線路トモ支那人荷物ハ著シク激減シ線路ニヨリテハ全然皆無トナリ船客モ排日団ノ迫害ヲ受ケ乗船セズ營業上ノ損害著ナルノミナラズ各地ニ於テ支那人ヨリ侮辱脅迫ヲ受ケ荷客揚卸等ニ対シ船陸ノ交通ヲ遮断シ極端ナル妨害暴行ヲ蒙リ定期維持ニ多大ノ脅威ヲ感スルニ至リ候而カモ支那官憲ノ排日ニ対スル取締ハ頗ル緩慢ニシテ何等誠意ノ認ムベキモノナク陽ニ取締ヲ口ニシナガラ陰ニ之レヲ煽動セル形跡アルモノサヘ有之若シ此形勢ニシテ永続セバ如何ナル不測ノ事件ヲ惹起スルニ至ルヤモ難計ノミナラズ當会社ガ多年扶植セル營業上ノ地盤ヲ破壊セラレ其損害計ル可ラザルニ至ルベシト痛心罷在候

就テハ支那当局ニ於テ誠意ヲ以テ右等排日一派煽動者等ヲ取締リ其徹底ヲ期セシムル様嚴重御交渉方御配慮相蒙リ度此段奉願候也

大正十二年六月八日

日清汽船株式会社  
社長 竹内 直哉(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

二八五 六月二十五日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)  
湘潭地方ニ於ケル排日運動露骨ノ為日清汽船ノ定期就航一時差止めニ閔シ申進ノ件

第六六号

湖南省湘潭地方ハ今猶排日運動露骨ニシテ省政府ハ取締ヲ実行セズ從テ同地ニ於ケル日清汽船使用人ハ全部四散シ未ダ復帰セザルヲ以テ同社漢口湘潭間就航ハ多少危險ノ虞アリ營業ノ見込ミモ全然無キヲ以テ以後当分ノ間時機ヲ見テ就航セシメ強テ定期ヲ履マシメザルコトヲ同社当地代表者ニ同意ヲ与ヘ置ケリ

在支公使、在漢口總領事へ暗送セリ

二八六 六月二十八日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)  
湖南省政府ノ日貨排斥運動ノ取締振ニ付報告

ノ件

第七〇号  
其後ノ当地狀況ハ学生団ノ行動新聞ノ態度等機會アル毎ニ

動モスレバ激發セントスル模様アリ又新ニ組織セラレシ外交後援会ノ如キ時々貨物ノ検査ヲ為ス実例アルモ大体ニ於テ表面ハ依然平穏ヲ保テリ省政府ハ一々事実ヲ指摘シテ其取締ヲ迫レル當方ノ交渉ニ対シ何等誠意アル回答ナク殊ニ旅大問題解決セザルヲ以テ各地共日貨排斥運動アリ日本政府トシテモ考慮ノ余地アル可キコト及支那官憲トシテハ其常規ヲ逸スルノ民衆運動ハ取締ル可キモ民心ヲ轉ズル能ハズト言ヒ直接本邦人ノ生命財産ニ何等危害ヲ及ボサザル行動歟クモ日貨排斥ノ如キハ取締ル能ハザルヲ意味スルガ如キコトヲ明ニ文書ニ記載シテ當方ノ主張ヲ反駁シツツアル

狀態ニシテ當地ニ於テ如何ニ局部的ニ努力ストモ支那側ノ真面目ナル反省ヲ促スコト甚ダ覺束ナシ  
漢口ヘ転電セリ

五 華 南

二八七 十二月六日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
伊集院外務大臣宛(電報)  
常德方面ニ於テ地方官憲ノ取締ニヨリ排日貨運動屏息ノ旨申進ノ件

第一号

最近常德方面ニ於テ外交後援会復活学生団ノ排日貨運動再燃シ本邦商ノ打撃ヲ受クルモノアリ注意中ノ處右学生団ノ行動ハ当地一般支那商ノ反感ヲ買ヒ兩者ノ間ニ確執アリ結局商人側ノ運動ニ依リ同地官憲ハ後援会ノ解散ヲ命ジ排貨行動嚴重取締ノ態度ヲ示シタル為遂ニ屏息シ本邦商ノ取引ハ復活セリ御参考迄

北京及漢口ヘ転電シ上海へ暗送セリ

ボイコット」取消決議ニ閔スル件

第二号

当地学生連合会ガ青島問題解決ノ理由ヲ以テ「ボイコット」ヲ取消スベキコトヲ決議シタル次第ハ既電ノ通ナルガ右ニ閔シ学生会ハ本日長文ノ宣言書ヲ発表シ市中大行列ヲ行ヒテ本問題大段落ノ意ヲ表明セリ宣言書ノ要領左ノ如吾人ガ約六年間ニ亘リ辛苦艱難官僚ノ圧迫ヲ受ケツツ百折

第一五八号

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二八七 二八八

二三七